

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	9
科目コード 34210	科目名 帽子 I	授業期間	通年

担当教員(代表)： 山内 祐子	共同担当者：
-----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

基礎で学んだ技法を深く理解し、高度な技術を学ぶ。

各種材料の特性を活かしたデザインと表現方法について研究し、完成度の高い作品制作を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

帽子デザイン I	34210	前期、後期	2 単位
帽子パターン I	34360	前期、後期	2 単位
帽子製作実技 I A	34411	前期	2 単位
帽子製作実技 I B	34412	後期	3 単位

前期	1	布帛・キャスケット	—	デザイン・パターン・製作実技	16 コマ
前期	2	カクテルハットとアクセサリ	—	デザイン・製作実技	16 コマ
前期	3	奈良ショー作品	—	デザイン・製作実技	23 コマ
後期	4	バザー作品	—	デザイン・製作実技	6.5 コマ
後期	5	立体裁断・演習	—	パターン	5.5 コマ
後期	6	芯入り布掛け	—	デザイン・パターン・製作実技	15.5 コマ
後期	7	(文化祭ショー作品	—	デザイン・製作実技)	
後期	8	カジュアルハット (立体裁断)	—	デザイン・パターン・製作実技	17 コマ
後期	9	修了作品 (ホースヘアー)	—	デザイン製作実技	28 コマ

\* テーマごとに、講義、制作をする

評価方法・対象・比重 テーマ別作品評価、試験：出欠：授業姿勢

6 : 3 : 1

## 主要教材図書

文化ファッション講座 帽子

## 参考図書

## その他資料

## 記載者書名欄

山内祐子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	9単位
科目コード 38785	科目名 ジュエリーデザイン I	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ ジュエリー・アクセサリーに関する情報と一般知識の習得
- ・ ジュエリーにおける金属加工のための技法、及び技術の習得。
- ・ アクセサリー制作における各種素材の研究と加工技術の習得。
- ・ ジュエリー・アクセサリー商品取り扱い店舗における市場調査によるショップ研究、定点観測と商品計画。

38785 ジュエリーI デザイン	2単位	通年
38792 ジュエリーI 制作実技 1A	3単位	前期
38793 ジュエリーI 制作実技 1B	4単位	後期

- カボションカット石の覆輪留めリング(基本形) 2コマ×9回 <18コマ>
  - ・ 金属加工
  - ・ 覆輪制作 石枠留め
  - ・ 金属研磨・仕上げ方法
- カボションカット石の覆輪留めアクセサリー(自由デザイン) 2コマ×12回 <24コマ>
  - ・ 金属加工(展延性)
  - ・ デザインに合わせた工具の使い分け
 アイテム: リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット
- バザー作品 2コマ×5回、<10コマ>
  - ・ 商品の制作(商品と作品の違い)
- 有線七宝<基礎作品> 2コマ×4回 <8コマ>
  - ・ 立体軸を使った有線七宝技法
 アイテム: ボタン
- 樹脂作品 2コマ×11回、<22コマ>
  - ・ レジンの扱い
  - ・ 原型制作、ゴム型制作
  - ・ レジンの流し、軟化、硬化
 アイテム: リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット
- 線の構成・面の構成 2×12回 <24コマ>
  - ・ 金属による線や面の構成、ロウ付けによる組み立て
 アイテム: リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット
- 金属と異素材の組み合わせアクセサリー 2×12回 <24コマ>
  - ・ ビーズ、ガラス、プラスチック、アクリル、木など金属以外の素材研究
  - ・ 素材の特性と扱い方法、接着方法
  - ・ アクセサリーへの加工方法
 アイテム: リング、ブローチ、ネックレス、ブレスレット

店舗市場調査

評価方法・対象・比重

制作物(デザイン、制作実技)及びその作品のポートフォリオの提出、またその制作過程における課題の理解度や  
また出席状況などを総合的に評価する。 比重 制作物 8 : 出席状況(授業態度) 2 英字評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 大工原 睦

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単位	1
科目名 49110	科目名 ファッショングッズ特論 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：山内 祐子・青木 克江	共同担当者：大工原 陸
----------------------	-------------

## 教育目標・レベル設定など

多方面にわたる講師及び実習指導を通して、豊かな感性と創造力を養い専門科目の充実をはかることを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など

1. バスケットリー・・・・・・・・・・講義・演習 4コマ

講師：関島 寿子

2. ピンワーク・・・・・・・・・・講義・演習 3コマ

講師：伊藤 淑恵

3. ジュエリー業界について・・・・・・・・講義 1コマ

講師：未定

4. 帽子のクリエイションについて・・・・講義 1コマ

講師：SAWA VAUGHTERS

5. パールのアクセサリーについて・・・・講義 2コマ

講師：森永 のり子

6. フリーランスの仕事・・・・・・・・・・講義 1コマ

講師：横山 智和

7. 帽子企業(株式会社よこい)・・・・・・・・見学 2コマ

8. ジュエリー企業・・・・・・・・・・見学 2コマ

## 評価方法・対象・比重

出欠：レポート

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科2年	単 位	2
科目コード 97520	科目名 自由研究 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 山内 祐子	共同担当者 :
------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>各教科目を基に、さらに高度な技術と創造性を磨く為に、個人テーマにより研究する</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など</p> <p>◆各種コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トルコレザーによる作品コンテスト</li> <li>・YKKファスニングアワード</li> <li>・台東デザインアワード</li> <li>・TLF革のデザイン展</li> <li>・文化服装学院ファッションコンテスト 服飾工芸部門</li> <li>・その他関連コンテスト</li> </ul> <p>◆美術館、博物館等の見学</p> <p>◆個人テーマによる作品制作</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>研究姿勢・提出物</p>
-----------------------------------

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者署名欄
--------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科2年	単 位	1
科目コード	30000	科目名	アートフラワー	授業期間	前期

担当教員(代表)： 合渡 都	共同担当者：
----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

各課題ごとに各種素材の把握と扱い、用具の自由な使い方など広く盛り込み、アートフラワーの基本的な知識と技術を実習により習得。専門分野に於いて活用できるレベルを目指す。簡単なことながらも工夫次第で様々なモノ作りの場に於いていけるような応用力、発想の豊かさを大切に楽しんで、又心動かしつつ創作していける力がつくよう指導

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、 マーガレットのコサージュ
- 2、 糊引きした生地を使ったカメラア
- 3、 裏打ちしたアネモネのコサージュ

## 評価方法・対象・比重

作品採点・出欠

## 主要教材図書

特になし

## 参考図書

特になし

その他資料 各課題ごとのプリントを配布

記載者書名欄 合渡 都

# 2015年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	14402	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科	2年	単 位	2 単位
科目コード	38570	科目名	ハンディクラフト	Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：白戸 薫	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ハンディクラフトⅠで学習したテクニックの応用。エンブroidアリーと布の加工の他に、レースのテクニックも含め、より高度で広範囲なテクニックの習得を目指す。一般的な素材だけでなく、特殊な材料等も発展的に使用していく。帽子・アクセサリーへの応用など、さらにクリエイティブな力を養うことを目標とする。

## 授業概要

### \* エンブroidアリー

- ・リボンエンブroidアリー 刺しゅう用シルクリボンの基本テクニックの実習
- ・リボンワーク 幅広のリボンを加工し、花のモチーフをつくるテクニックの実習
- ・カラーエンブroidアリーの応用 より多様性のある表現のためにボリュームのあるステッチやスタンプワークなどを実習
- ・ゴールドエンブroidアリー ゴールドの素材を用いたエンブroidアリーのテクニックの実習
- ・イニシャル(応用) 各自のイニシャルをデザインし、ゴールドエンブroidアリーで表現

### \* 布の加工：レリーフライク表現

- ・イタリアンスモッキング 布の縫い縮め方による新しい表面効果のテクニックの実習
- ・ピンチング 布を裏面からつまみ縫いし、模様をつくるテクニックの実習
- ・ファンシープリーツ 固定したプリーツを部分的に起こし、陰影を表現するテクニックの実習
- ・ラティススモッキング 柄布を使いより効果的に陰影を表現するテクニックの実習

### \* レース

- ・ファゴティング 布と布の間をかがりで透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・ニードルポイントレース コードを用いて作った空間に、かがりで透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・テネリーフレース 渡した糸をかがりで模様を表現するテクニックの実習  
ボーダー/円形モチーフ
- ・クロッシェ 編み物の種類のうち、かぎ針を使ったテクニックの実習  
基礎編/モチーフ

\* 総合表現 まとめとして、図案をデザインして、テクニックを駆使し表現するトータルな物づくりの実習

評価方法・対象・比重  
制作物を主な評価とする

主要教材図書 文化ファッション講座 工芸2 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

記載者氏名

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	1
科目コード 20350	科目名 染色演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：太田 繁	共同担当者：
---------------	--------

# 教育目標・レベル設定など

帽子・ジュエリーデザイン制作の新たな発想の手がかりとなるよう、何種類かの染色・加工法を抜粋し指導する。

その基本的な知識と技法を実習をととして習得させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

## ＜テーマ＞

1. 染色概論 (1) 染料の歴史、染料の種類について 染料と繊維の適正、染料と繊維の結合について  
原毛染色 (1) 酸性染料による原毛染色 (フェルト加工に使用)
2. フェルト加工 (2) 原毛による素材作り 羊毛の縮絨について
3. フェルト加工Ⅱ (2) フェルト製作 仕上げについて
4. 型紙捺染 (2) 捺染(プリント)について
5. 型紙捺染Ⅱ (2) 型染め・顔料樹脂染料によるプリント 染料と顔料の違いについて
6. スクリーンプリント (2) スクリーンプリントのプロセスについて  
型染めとの違い・スクリーンプリントの種類について
7. スクリーンプリントⅡ (1. 5) 各自のデザインをプリント  
乾燥後の仕上げ、ベーキングについての必要性やクリーニングの注意点  
総論・まとめ (0. 5) 授業を通してのまとめ  
学んだ知識、技法についての理解と認識の確認 質疑応答

# 評価方法・対象・比重

作品、レポート、出席状況

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論

参考図書

その他資料

記載者書名欄 太田 繁

科コード	14402	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	2
科目コード	50510	科目名	造形デザイン I	授業期間	通年

担当教員(代表)：北川 陽史	共同担当者：
----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

ファッション工芸科の各分野において必要とされる立体造形に関する感覚を養成し、広く様々な造形経験を通じて、造形的なセンスと構成力を研鑽することが教育目標となります。一般的な造形・デザインから発展した様々な造形行為への理解を基調に、追体験と実験的制作を通して個人の主張する表現が遂行出来ることを目標とします。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

授業は造形作品(平面作品、立体作品)の制作が中心になります。

各テーマに対し前提講義と解説をビジュアル資料を中心に展開し、制作に関わる方法論も解説する。

制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例をアドバイスすることで、  
個人の造形的、空間的感覚の育成、拡張を目指します。

- 1 ユニットによる構成 線の要素を構成に用い、反復効果を応用し立体構成する。  
反復から生まれる造形的特徴とその展開方法 木角材(3コマ)
- 2 イメージ伝達する構成 抽象的な造形言語やイメージに基づいた抽象表現を色彩と形態によって作成する。  
イメージの定着方法の習得。モノトーンイメージから色彩構成へ (5コマ)
- 3 空間思考と立体構成 建築の粗要素を分析し、立体造形へ再構築を図る。  
立体と空間の造形要素の比較検討 段ボール(5コマ)
- 4 様式から造形要素抽出 各時代、スタイルの検証から造形要素を抽出し構成に応用する。  
シンボルから特徴を抽出 平面化(5コマ)
- 5 古典技法から新表現へ 張り子の技法を応用した造形と構成演習。身体との関係性や文化的な役割を検証。  
抽象化した型による相貫形態 仮面(6コマ)
- 6 反復パターンによる構成 面的要素による構成から、反復による形態変化を導き構成する。  
連続的なパターンの図案化。平面パターン(4コマ)

## 評価方法・対象・比重

制作実習における成果物を評価基準の大きな対象と位置づける。造形演習から進展させた造形の理解とその表現を評価し、  
独創性や独自の加工方法、表現の可能性が感じられるものを評価する。

実習時の制作姿勢、出席状況なども加味し、総合的に評価する。

## 主要教材図書

特になし

参考図書 Visual design(平面・色彩・立体構成) 1(改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会/六耀社

その他資料 特になし

記載者書名欄 北川 陽史



# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	単位 1
科目コード 61100	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	( )

担当教員(代表) : 森 秀男	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

## 教育目標・レベル設定など

1. ファッションマーケティングの基本概念を学び、企画構想力を身につける。課題演習が主体のため、マーケティング理論は、特に重要な部分を抜粋する。
2. 最新のマーケティング事例とファッションビジネス情報を解説して、業界の動向を把握し応用力を高める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I 授業では、毎回、最新のファッションマーケティング情報を紹介し、実戦的で現場に即した講義と企画演習を行う。

## II マーケティング基本概論

1. オリエンテーション(授業内容、課題、目的、学ぶ姿勢、試験、成績評価、その他)
2. マーケティングとは(意味と英語の解釈) マーケティングの歩み(アメリカ教育・歴史的背景)
3. マーケティング定義(America Marketing Associationと日本マーケティング協会の定義を融合して解説する)
4. マーケティング基本理念(顧客中心主義、生活創造、市場細分化と総合化、戦略的構想など)
5. マーケティング・ミックス(その基本手段と特性、効果的なミックスとは、その他)
6. プロモーション(プロモーションの目的、コミュニケーションのしくみ、)
7. プロモーション・ミックス(アドバタイジング、パブリシティ、SP、人的販売など)
8. ファッション小売業業態(SPA、専門店、ショッピングセンター、百貨店、量販店、ディスカウターなど)

## III マーケティング企画演習<スペシャリティー・ショップ・コンセプト開発計画>

<最終的に『マーケティング企画ファイル・ブック』を制作する>

1. マーケティング演習のオリエンテーション(内容、目的、スケジュール、ねらい、その他)
2. ターゲット設定解説(ライフステージ、エイジ、テースト、グレード、ライフスタイルなど)
3. ショップ・コンセプト計画
  - ・ショップ名、コンセプト、ロゴ・デザイン&マーク、ターゲット設定、ポジショニング
  - ・ショップ地図と周辺環境、ショップ・インテリア&エクステ、ショップ・レイアウト計画、
4. ターゲット・ライフスタイル分析と生活イメージ(ファッション、フード・ドリンク、インテリア、レジャー&エンターテインメント、ビューティー、その他)
5. シーズン MD & 商品構成計画(MD テーマ、スタイリング計画、カラー計画、素材計画、アイテム方針、商品構成、テーマ&ストーリー計画、シーズンテーマ・ビジュアルイメージなど)

評価方法・対象・比重 前期一筆記試験と課題提出の状況による  
後期-最終の企画ファイル・ブック(課題作品)の完成度などによる総合評価

## 主要教材図書

特になし

参考図書 マーケティングに関する最新の専門書、情報誌、業界誌、ファッション雑誌

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション、ターゲット分類解説 1	16	マーケティング企画の課題実習
2	マーケティングとは1	17	マーケティング企画の課題実習
3	マーケティングとは2 (マーケティング定義)	18	マーケティング企画の課題実習
4	マーケティング基本理念1	19	マーケティング企画の課題実習
5	マーケティング基本理念2	20	マーケティング企画の課題実習
6	マーケティング・ミックス1	21	マーケティング企画の課題実習
7	マーケティング・ミックス2	22	マーケティング企画の課題実習
8	ブランド・ライフサイクル, プロモーション1	23	マーケティング企画の課題実習
9	プロモーション 2	24	マーケティング企画の課題実習
10	プロモーション・ミックス 1	25	マーケティング企画の課題実習
11	プロモーション・ミックス 2	26	マーケティング企画の課題実習
12	小売業業態分類 1	27	マーケティング企画の課題実習
13	前期試験	28	マーケティング企画の課題実習
14	小売業業態分類 2	29	最後のまとめ
15	小売業業態分類 3	30	最後のまとめ

評価方法・対象・比重

前期--筆記試験と課題提出の状況による評価

後期-最終の企画ファイル・ブック(課題作品)の完成度などによる総合評価

主要教材図書

特になし

参考図書

マーケティングに関する最新の専門書、情報誌、業界誌、ファッション雑誌

その他資料

記載者氏名 森 秀男

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科 名	ファッション工芸科 2年	単 位	単位 1
科目コード	61100	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 森 秀男	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- 1 ファッションマーケティングの基本理論を学び、その応用としてのマーケティング企画力を身につける。
- 2 スペシャリティ・ショップのコンセプト開発の実習を通して、現場に即した企画マップを制作する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション、 ターゲット分類解説 1	16	マーケティング企画の課題実習
2	マーケティングとは1	17	マーケティング企画の課題実習
3	マーケティングとは2(マーケティング定義)	18	マーケティング企画の課題実習
4	マーケティング基本理念 1	19	マーケティング企画の課題実習
5	マーケティング基本理念2	20	マーケティング企画の課題実習
6	マーケティング・ミックス1	21	マーケティング企画の課題実習
7	マーケティング・ミックス2	22	マーケティング企画の課題実習
8	ブランド・ライフサイクル, プロモーション1	23	マーケティング企画の課題実習
9	プロモーション 2	24	マーケティング企画の課題実習
10	プロモーション・ミックス 1	25	マーケティング企画の課題実習
11	プロモーション・ミックス 2	26	マーケティング企画の課題実習
12	前期のまとめ	27	マーケティング企画の課題実習
13	前期試験	28	マーケティング企画の課題実習
14	ファッションビジネスの特性 1	29	マーケティング企画の課題実習
15	ファッションビジネスの特性 2	30	まとめと総括

評価方法・対象・比重

前期一筆記試験と課題提出の状況による

後期-最終の企画ファイル・ブック(課題作品)の完成度などによる総合評価

主要教材図書	特になし
参考図書	マーケティングに関する最新の専門書、情報誌、業界誌、ファッション雑誌
その他資料	

記載者氏名

科コード 14402

科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年

単 位

2

科目コード 51461

科目名 ファッショングッズデザイン画 I

授業期間

通年

担当教員(代表)：河西 恵美子

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

グッズに対するフォルムの表現力を構造から視野を深め、発想やアイデアをデザイン画に展開し確実な習得を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

[頭部・顔の表現と帽子との関係] …4.5 コマ

●基本バランスの把握・・・側面・斜め角度における頭部及び顔のとらえ方

帽子のブリム角度の把握表現

●キャスケット・・・構造を認識し着装画と製品図にデザイン表現

[副資材及びディテールの表現]…4.5 コマ

●副資材を効果的に表現するポイントテクニック

●ディテールデザイン・・・重なりを表現するブレードやリボンなどを用いてディテールデザイン

帽子着装画と製品図にてバリエーションデザイン表現

[素材表現におけるデザイン発想] …4 コマ

●エキゾチックスキンなどの特徴ある皮革素材を使用し、帽子とアクセサリーのコラボデザイン表現

[創作グッズデザイン] …5 コマ

・・・テーマに対して資料となる材料を収集し、感覚イメージを創作デザインに表現

●コンテスト応募作品(課題時間の併用も考慮)

●世界の装飾図案デザイン発想

・・・好きな図案を選択し、図案のモチーフや構成を参考に装身具のデザインを作成

[レンダリング] …5 コマ

・・・ジュエリーの描き方をメタルデザインやリングなどの基本習得とデザイン表現

[ポートフォリオ] …4 コマ

・・・マイコレクションとして実製作品を基本ラインに作品集の一端を構成し、3年次継続  
(テーマ・コンセプト・イメージマップ・デザイン画・作品写真あたりまで)

評価方法・対象・比重

課題作品による評価、後期期末試験、出席状況、授業態度を考慮に入れる。

主要教材図書

文化ファッション大系「ファッション工芸講座」

参考図書

その他資料：ファッション誌等

記載者書名欄 河西 恵美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科名	帽子・ジュエリーデザイン科2年	単位	1単位
科目コード	50220	科目名	デッサンⅡ	授業期間	通年 ( )

担当教員(代表)	一倉 伸夫	共同担当者	
----------	-------	-------	--

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

静物デッサン・石膏デッサン等を通して物当然の原理・性質を理解し、描写力を養うことによって創造力の基底とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	複合形の理解と描写	16	
2	複合形の理解と描写	17	
3	複合形の理解と描写	18	
4	光と変化する調子の理解	19	
5	光と変化する調子の理解	20	
6	光と変化する調子の理解	21	
7	質感と調子の理解	22	
8	質感と調子の理解	23	
9	質感と調子の理解	24	
10	質感と調子の理解	25	
11	質感と調子の理解	26	
12	質感と調子の理解	27	
13	質感と調子の理解	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重	制作物の評価	50%
	出欠の評価	50%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 2年	単 位	1単位
科目コード 56220	科目名 グラフィックワーク II	授業期間	前期

担当教員(代表)：飯塚 有葉	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>グラフィックワーク I 修了者を対象として、コンピューター操作の更なるスキルアップを図る。 マーケティングの授業課題を Photoshop・Illustrator で作成できる力を身につける。</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Photoshop の基本操作：講義・実習 3コマ ①Illustrator との相違点 ②選択範囲の作成方法 ③画像の切り抜き・合成</li> <li>デザイン画の着色方法：講義・実習 4コマ ①ブラシツールでの着色 ②素材写真の貼り付け ③陰影のつけ方</li> <li>回転・反転・パスファインダ等の使い方：講義・実習 3コマ ①回転・反転ツールの使い方 ②パスファインダの使い方 ③図形の整列</li> <li>モノグラムデザイン：講義・実習 2コマ ①文字ツールの使い方 ②アピアランスの使い方 ③スウォッチの作成</li> <li>トレンドマップの作成：実習 3コマ ①使用写真のスキャニング ②画像の切り抜き ③配置</li> <li>グラフの作成方法：講義・実習 2コマ ①グラフの種類 ②グラフの使い方 ③感性分析グラフの作成</li> <li>マップレイアウト：講義・実習 7コマ ①様々なレイアウト方法 ②各自ブランドマップの作成</li> <li>プレゼンテーション：講義・実習 5コマ ①パワーポイントの使い方 ②アニメーションの使用方法 ③発表原稿の作成 ④プレゼンテーション</li> </ol>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>授業内課題作品・実技試験・出席状況</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>特になし</p>
---------------------------

<p>参考図書 特になし</p>
------------------

<p>その他資料 使用ソフト Adobe PhotoshopCS2/Adobe IllustratorCS2/Microsoft Power Point</p>
--

<p>記載者書名欄 飯塚 有葉</p>
---------------------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科2年（3科合	単 位	1 単位
科目コード 41000	同）	授業期間	半期（後期）
科目名 西洋服装史			

担当教員（代表）：鈴木 教子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

西洋服装史の通史的、概論的講義。古代から現代に至る西洋を中心とした歴史の流れと服装の推移発展を理解させる。各時代、各アイテムの歴史にも触れる。特にヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後のファッションデザインにその知識を活かせるようにする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	古代の服飾（メソポタミア・エジプト・ギリシャ・ローマ）	17	
3	中世の服飾（ビザンティン・ロマネスク・ゴシック）	18	
4	近世の服飾（1）ルネサンス	19	
5	近世の服飾（2）バロック	20	
6	近世の服飾（3）ロココ	21	
7	近世のまとめ	22	
8	近代の服飾（1）19世紀前半	23	
9	近代の服飾（2）19世紀後半	24	
10	20世紀ファッション（1）1900～1920年代	25	
11	20世紀ファッション（2）1930～1940年代	26	
12	20世紀ファッション（3）1950年代	27	
13	20世紀ファッション（4）1960～1970年代	28	
14	20世紀ファッション（5）1980～1990年代	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

定期試験、小テスト、提出物、出欠席、授業態度を含め総合的に評価する

主要教材図書 「文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑪改訂版・西洋服装史」

参考図書 折に触れ紹介する

その他資料

記載者氏名 鈴木 教子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科名	帽子・ジュエリーデザイン科2年	単位	1
科目コード	98120	科目名	特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)： 山内 祐子 ・ 青木 克江	共同担当者：
-------------------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

多方面にわたる講師の講義を通して、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など

- コレクション情報・・・・・・・・・・講義 2コマ  
講師：萩原 輝美
- スタイリングにおけるファッション小物・講義 1コマ  
講師：藤 裕美
- 服飾小物における事業展開・・・・・・・・講義 1コマ  
講師：亀山 功
- 作品集の制作テクニック・・・・・・・・・・講義・実習 3コマ  
講師：福田 弘一
- セレクトされる商品とは？・・・・・・・・講義 1コマ  
講師：小山 奈々子
- グッズデザイナーの仕事・・・・・・・・・・講義・実習 2コマ  
講師：石澤 彰一
- お金について(人生のデザイン講座)・・講義 2コマ  
講師：橋本 長明
- カメラワーク・・・・・・・・・・・・・・・・講義・実習 2コマ  
講師：青木 勝洋

## 評価方法・対象・比重

出欠：レポート

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

## 記載者書名欄

青木 克江



# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科2年	単 位	1
科目コード	96100	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)： 山内 祐子 ・ 青木 克江	共同担当者：
-------------------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>○企業、工場見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡かばん企業 2社</li> <li>・兵庫県姫路市 タンナー</li> <li>・シューズメーカー</li> <li>・ビーズ工場</li> </ul> <p>○美術館、博物館見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸ファッション美術館</li> </ul> <p>○グループ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市内</li> </ul> <p>○レポート提出</p>
--

評価方法・対象・比重	出席・レポート
------------	---------

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄	青木 克江
--------	-------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科 名	帽子・ジュエリー・バック・シューズデザイン科2学年	単 位	単位 1
科目コード	65552	科目名	キャリア開発Ⅱ（コミュニケーション）	授業期間	（ 前期 ）

担当教員（代表）：長谷川直美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

将来を考えるテーマを通し、「（読む）・聴く・書く・話す力」を養う

- ・社会情勢に関心がもてるようになり、また、人前で自分の意見を堂々と言えるようになる
- ・グループプレゼンテーションを通し、自分のことを表現したり、チームで協働することを経験する

育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返して出来るようになるまで行う

コマ	内 容	コマ	内 容
1	自己分析（自己表現・相手との相互理解）	16	
2	勤労観（キャリア開発について考える）	17	
3	職業観（社会人について考える）	18	
4	自己分析（エコグラムによる自己分析）	19	
5	コミュニケーション1（教育ゲームを通し理論の理解をする）	20	
6	コミュニケーション2（ゲームや実習を通しスキルを磨く）	21	
7	コミュニケーション3（実習と発表）	22	
8	コミュニケーション4（実習と発表）	23	
9	自己分析（自分の強み発見）	24	
10	プレゼンテーション1（効果的なスキルを学ぶ）	25	
11	プレゼンテーション2（実践の訓練に入る）	26	
12	成果発表	27	
13	成果発表	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

受講態度（グループワーク・プレゼンテーション実習）80%、レポート20%

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名 長谷川直美

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリー・バック・シューズデザ	単 位	単位 1
科目コード 65562	イン科 2 学年	授業期間	( 前期 )
科目名 キャリア開発Ⅱ (就職対策)			

担当教員(代表) : 長谷川直美	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

将来を考えるテーマを通し、「(読む)・聴く・書く・話す力」を養う

- ・社会情勢に関心がもてるようになり、また、人前で自分の意見を堂々と言えるようになる
- ・グループプレゼンテーションを通し、自分のことを表現したり、チームで協働することを経験する

育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返して出来るようになるまで行う

コマ	内 容	コマ	内 容
1	自己分析 (自己表現・相手との相互理解)	16	
2	勤労観 (キャリア開発について考える)	17	
3	職業観 (社会人について考える)	18	
4	自己分析 (エコグラムによる自己分析)	19	
5	コミュニケーション1 (教育ゲームを通し理論の理解をする)	20	
6	コミュニケーション2 (ゲームや実習を通しスキルを磨く)	21	
7	コミュニケーション3 (実習と発表)	22	
8	コミュニケーション4 (実習と発表)	23	
9	自己分析 (自分の強み発見)	24	
10	プレゼンテーション1 (効果的なスキルを学ぶ)	25	
11	プレゼンテーション2 (実践の訓練に入る)	26	
12	成果発表	27	
13	成果発表	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

受講態度 (グループワーク・プレゼンテーション実習) 80%、レポート20%

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名 長谷川直美

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14402	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科2年	単 位	1
科目コード 96651	科目名 インターンシップ a	授業期間	通年（自由選択）

担当教員（代表）： 山内 祐子	共同担当者：
-----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。  
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

### ○研修先、期間

帽子、及びジュエリー業界の企業

1週間～2週間（受け入れ先企業により異なる）

### ○研修内容

実務作業補助（デザイン、製作、営業、生産管理など）

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

## 評価方法・対象・比重

出欠、研修報告

\* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者書名欄 山内 祐子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	14単位
科目コード	34220	科目名	選択・帽子Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：	山内 祐子	共同担当者：	
-----------	-------	--------	--

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各テーマの目的に合ったデザイン発想と展開。デザインに合ったパターンの展開方法と表現技法を研究し、理解を深めてより完成度の作品制作を目指す。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

34220・デザインⅡ…2単位      34370・パターンⅡ…2単位  
34421・制作実技ⅡA…6単位      34422・制作実技ⅡB…4単位

- 1) 布帛 … 29コマ      ・講義・デザイン画・パターン・レポート・布帛の帽子制作
  - 2) チップ（木型に変わる元型） … 31コマ      ・講義・デザイン・チップ制作
  - 3) チップ使用の帽子 … 17コマ      ・講義・デザイン画・チップ使用の帽子制作（帽体又は、ブレード、他）
  - 4) コーディネートデザインⅠ：奈良ショー作品 … 20コマ  
・講義・デザイン・パターン・帽子、及びアクセサリー制作
  - 5) ブレードの帽子とアクセサリー … 12コマ      ・講義・デザイン画・ブレードミシンを使用したブレードの帽子制作
  - 6) レザー又は、羽根 … 12コマ      ・講義・デザイン画・レザー又は、羽根の帽子制作
  - 7) コーディネートデザインⅡ：文化祭 F ショー作品 … 25コマ      ・講義・帽子、及びアクセサリー制作
  - 8) 卒業制作 … 29コマ      ・講義・デザイン画、製作プラン・帽子、及びアクセサリー制作  
（卒業研究・創作、コスチュームアクセサリーと連動）
- \* テーマごとにデザイン、パターン、製作実技と連動

評価方法・対象・比重      テーマ別作品評価：出欠：授業姿勢

主要教材図書      文化ファッション講座 帽子

参考図書

その他資料

記載者書名欄      山内祐子

# 2015 年度 カリキュラム科目概要

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科	単 位	10
科目コード 38781	ジュエリーデザインⅡ・制先実技ⅡA・制作実技ⅡB・メタルワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)： 西山 志郎	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>個性を生かしたデザイン展開をもとに、技法の拡大を進め精度の高さ・完成度の高さを追求するとともに、様々なアイテムにも挑戦し、社会・企業のニーズに対応可能な人材を育成し、未来を見据え時代に即応したジュエリー制作者を養成する。</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、</p> <p>テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>I、エメラルドカット石のリング(エメラルドカット石)・・・44コマ</p> <p>1、角石の対応 角石の爪留め法(爪の形状、爪の倒し方)</p> <p>2、石枠作り 角枠の作り方(石座作りにおける溝の入れ方、面のとり方、爪のつけ方)</p> <p>3、角石に見合うリングのデザイン展開 カット石に合うデザイン</p> <p>II、メレー石枠(メレー石)・・・9コマ</p> <p>1、パイプの作り方 地金取り法、丸め方</p> <p>2、爪のつけ方 からげ法、特殊ピンセットによるロウ付け法</p> <p>3、留め方 倒し方、ミルたがね使用法</p> <p>III、打ち出しアクセサリ(ブローチ・バックル・プレート)・・・24コマ</p> <p>1、出しタガネ制作(各タガネをインチャスリによる切削)</p> <p>2、彫りタガネ制作(各タガネをインチャスリによる切削、焼入れ、砥石による面出し)</p> <p>3、松脂の扱い(危険性の認識、作り方、火の当て方、固定法、はずし方、取り除き方)</p> <p>4、打ち方、出し方、決め方、彫り方</p> <p>IV、メレー石彫り留め(平打ちリング)・・・6コマ</p> <p>1、毛彫りタガネによる爪作り</p> <p>2、爪の起こし方・石座の作り方・爪の丸め方、留め方(セッティングバー・コーンカーブ・ミルタガネ)</p> <p>V、銀、赤銅を用いたピアス・ERまたはペンダントトップ・・・16コマ</p> <p>1、赤銅について 合金比率</p> <p>2、接ぎ合わせ、重ね合わせ、打ち込み象嵌、布目象嵌による文様表現 接合法</p> <p>3、赤銅における煮込み着色 薬品の取り扱い、下仕事、脱脂</p> <p>4、メレー石 ワンポイントによるデザイン</p> <p>VI、ジュエリー、コスチュームアクセサリ、グッズ・クラフトその他・・・52コマ</p> <p>1、鍛金技法による立体造形</p> <p>2、グッズ・クラフトなど様々なアイテムに見合った技法の選択・工程の読み</p> <p>3、各自がデザイン展開した作品に、今まで積み上げた技量をいかんなく発揮し、完成度の高い卒業制作作品とする</p>
--

評価方法・対象・比重
制作物・出席率を含めた学習態度

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科	3 年	単 位	4 単位
科目コード	39250	科目名	コスチュームアクセサリー		授業期間	(通年)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者：山内 祐子
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

創造性の追及と制作技法の研究から、オリジナルなトータルデザインと新たなアイテムの提案に取り組み、完成度を高めることを目標とする。

各自の課題制作に加え、産学コラボレーション企画、各種コンテスト作品への応募や、文化祭ファッションショーの作品制作にも取り組む。卒業期には卒業研究・創作や帽子、ジュエリーと連動して卒業制作に取り組む。

- |  |               |
|--|---------------|
| 1) コンテストデザイン画 … 3コマ<br>(トルコ皮革、YKKファスニングアワード など)… 1コマ                           | ・講義、実習        |
| 2) メンズハット … 10コマ<br>帽子メーカーにおける縫製方法<br>工場見学<br>縫製実習                             | ・講義、実習 ・布帛の帽子 |
| 3) コーディネートデザインⅠ：奈良ファッションショー … 20コマ<br>ショーのコンセプトに合ったデザインの検討と制作方法<br>(選択・帽子Ⅱと連動) | ・実習 ・作品制作     |
| 4) コーディネートデザインⅡ：文化祭ショー作品 … 8コマ<br>ショーのコンセプトに合ったデザインの検討と制作方法<br>(選択・帽子Ⅱと連動)     | ・実習 ・作品制作     |
| 5) 卒業制作 … 20コマ<br>各選択、個々のテーマ設定に合わせた作品制作<br>(卒業研究・創作と連動)                        | ・実習 ・作品制作     |

「工場見学」

「各種コンテスト応募」

評価方法・対象・比重

テーマ別作品評価：出欠：授業姿勢

6 : 3 : 1

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 大工原 睦

文化服装学院教務部

記載者書名欄 山内 祐子



# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	1単位
科目コード 39190	科目名 エナメルワーク	授業期間	( 前期 集中 )

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. 七宝技術の習得 色彩構成の学習
2. 金属加工の技法、及び技術の習得(七宝制作の胎作り)

立体釉(ハードエナメル)を使った 有線七宝(クロイゾネ)技法の習得

七宝の胎(金属)の加工

有線七宝を焼成し、金属と組み合わせてコスチュームアクセサリーの制作

色の構成力の学習

伝統的な有線七宝技法の習得

金属や異素材との組み合わせによる表現の拡大をはかる

人体との調和や効果的表現の学習

基礎制作〈ボタン〉→応用作品

授業方法 講義と実習

2コマ×7回

評価方法・対象・比重

製作提出物・授業態度(出席状況) 8:2 英字評価

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 大工原 睦

# 2015 年度 カリキュラム科目概要

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科	単 位	10
科目コード 38781	ジュエリーデザインⅡ・制先実技ⅡA・制作実技ⅡB・メタルワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)： 西山 志郎	共同担当者：
-----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

個性を生かしたデザイン展開をもとに、技法の拡大を進め精度の高さ・完成度の高さを追求するとともに、様々なアイテムにも挑戦し、社会・企業のニーズに対応可能な人材を育成し、未来を見据え時代に即応したジュエリー制作者を養成する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

### I、エメラルドカット石のリング(エメラルドカット石)・・・44コマ

- 1、角石の対応 角石の爪留め法(爪の形状、爪の倒し方)
- 2、石枠作り 角枠の作り方(石座作りにおける溝の入れ方、面のとり方、爪のつけ方)
- 3、角石に見合うリングのデザイン展開 カット石に合うデザイン

### II、メレー石枠(メレー石)・・・9コマ

- 1、パイプの作り方 地金取り法、丸め方
- 2、爪のつけ方 からげ法、特殊ピンセットによるロウ付け法
- 3、留め方 倒し方、ミルたがね使用法

### III、打ち出しアクセサリ(ブローチ・バックル・プレート)・・・24コマ

- 1、出しタガネ制作(各タガネをインチャスリによる切削)
- 2、彫りタガネ制作(各タガネをインチャスリによる切削、焼入れ、砥石による面出し)
- 3、松脂の扱い(危険性の認識、作り方、火の当て方、固定法、はずし方、取り除き方)
- 4、打ち方、出し方、決め方、彫り方

### IV、メレー石彫り留め(平打ちリング)・・・6コマ

- 1、毛彫りタガネによる爪作り
- 2、爪の起こし方・石座の作り方・爪の丸め方、留め方(セッティングバー・コーンカーブ・ミルタガネ)

### V、銀、赤銅を用いたピアス・ERまたはペンダントトップ・・・16コマ

- 1、赤銅について 合金比率
- 2、接ぎ合わせ、重ね合わせ、打ち込み象嵌、布目象嵌による文様表現 接合法
- 3、赤銅における煮込み着色 薬品の取り扱い、下仕事、脱脂
- 4、メレー石 ワンポイントによるデザイン

### VI、ジュエリー、コスチュームアクセサリ、グッズ・クラフトその他・・・52コマ

- 1、鍛金技法による立体造形
- 2、グッズ・クラフトなど様々なアイテムに見合った技法の選択・工程の読み
- 3、各自がデザイン展開した作品に、今まで積み上げた技量をいかんなく発揮し、完成度の高い卒業制作作品とする

## 評価方法・対象・比重

制作物・出席率を含めた学習態度

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	単位 2
科目コード 63700	科目名 グッズマーチャンダイジング	授業期間	( 前期 )

担当教員(代表) : 丹治龍子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1. ファッション・マーチャンダイジング実務についての指導を行ない、シーズンMDの計画背景に基づいたプランニング実習を行ない、企業で企画プランナー&デザイナーを目指す学生の為の教育を行なう。
2. ファッションブランドのブランディング過程を実践。現実に即したブランドの意思決定と立案計画、そして具体的な商品企画を行ない、プレゼンテーションを実施。個々の能力の向上を目指す。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	マーチャンダイジング概論/ブランディングとは	16	③店頭MDストーリー作成
2	〃	17	④デザインング&マップ作成
3	ブランド立案 : ①リサーチ&コンセプトの策定	18	〃
4	〃	19	⑤デザイン検討会(夏休み/サンプル製作)
5	②市場の位置づけ/ポジショニングマップの作成	20	〃
6	〃	21	⑥MDマップ作成/商品構成
7	③ターゲットパネルの作成/顧客の具現化	22	〃
8	〃	23	生産MD : 生産仕様書作成(グッズ別仕様書作成)
9	④プロダクトMDの立案/サイズ・価格構成表作成	24	〃
10	〃	25	2016S/S企画プレゼンテーション/
11	企画MDの基本計画 : ①2016S/Sシーズンコンセプト作成	26	コンセプトブック&サンプルによる発表
12	〃	27	
13	②店頭MD&テーマコンセプトの作成/マップ作成	28	
14	〃	29	
15	③店頭MDストーリー作成	30	

評価方法・対象・比重

\* 作品評価/ブランドコンセプトからS/S COLLECTIONまでのコンセプトブック作成資料&サンプル作品の評価

主要教材図書

参考図書 トренд情報誌、ファッション雑誌など

その他資料 カラー&素材資料 他

記載者氏名

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	単位 1
科目コード	49120	科目名	ファッショングッズ特論 II	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 宮原勝一・菊池明子・大工原睦	共同担当者 :
---------------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

- |                      |             |          |     |
|----------------------|-------------|----------|-----|
| 1. コレクション情報          | 講師 : 萩原 輝美  | ・ 講義     | 2コマ |
| 2. ビジネスの目的と基本        | 講師 : 山地 保   | ・ 講義     | 2コマ |
| 3. スポーツグッズのマーチャンダイジン | 講師 : 羽田 武幸  | ・ 講義     | 1コマ |
| 4.トレンド情報             | 講師 : 岡村 嘉子  | ・ 講義     | 2コマ |
| 5. 皮革のメンテナンス         | 講師 : 静 孝一郎  | ・ 講義     | 1コマ |
| 6. 毛皮について            | 講師 : 梨本 チエコ | ・ 講義、ビデオ | 2コマ |
| 7. ファッション雑貨のマーケティング  | 講師 : 南馬越 一義 | ・ 講義     | 1コマ |
| 8. クリエーションについて       | 講師 : 未定     | ・ 講義     | 2コマ |

\* 帽子・ジュエリー、バッグ、シューズ科3年合同

評価方法・対象・比重  
欠席 : レポート  
7 : 3

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一 菊池明子 大工原睦

科コード 14403

科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年

単 位 2

科目コード 51462

科目名 ファッショングッズデザイン画 II

授業期間 通年

担当教員(代表)：河西 恵美子

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

デザインワークの上で即戦力として使えるデザイン画の習得。

就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び企画力を目指して。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

[ポートフォリオ作成] …2年次の継続にて6コマ

## ●マイコレクション

- ・・・個々の「作品集」として、学習経過の作品等と資料を効果的にまとめ、  
就職活動のプレゼン用の一端を担うよう、発表実習も行う。
- テーマ設定、コンセプト、ビジュアルイメージマップ、デザイン画、アイテムバリエーション、  
研究課題等(デザイン構成と表現内容の工夫や展開スタイルなどを強化)

[創作デザイン]

- ・・・デザイン発想のキーワードの資料収集と探求、バリエーションデザイン表現の強化

## ●デザインバリエーション構成 …3コマ

- ・・・製品図デザイン表現とビジュアルイメージ背景構図を用い、表現力を身に着ける

## ●絵画配色からのデザイン …3コマ

- ・・・好きな画家などの作品から色彩・質感を具体化し、色出し配色からデザイン展開

## ●コンテスト応募作品 …2コマ前後 (課題時間の併用も考慮)

## ●素材表現 …5コマ

- ・・・羽根と毛皮素材を使用し、手袋のアイテムを加えた着装デザイン表現

## ●グッズアイテムデザイン 30 …8コマ

- ・・・デザインテーマを各自で考案し、30点のアイテムデザインをコンセプト・リサーチ資料など  
企画書スタイルにてまとめ発表

評価方法・対象・比重

課題作品による評価、前期&amp;期末試験、出席状況、授業態度を考慮に入れる。

主要教材図書

文化ファッション大系「ファッション工芸講座」

参考図書

その他資料 ファッション誌等

記載者書名欄 河西 恵美子

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位 2
科目コード 51300	科目名 レンダリング	授業期間 通年

担当教員(代表)：河西 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

ジュエリーの描き方の把握から、個々それぞれの特性を引き出す創作デザインの考案、及びデザインワークの活力に。ポートフォリオ作成とともに企画デザイン力を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

[ポートフォリオ作成] …2年次の継続にて6コマ前後

- マイコレクション・・・個々の「作品集」として、学習経過の作品等と資料を効果的にまとめ、就職活動のプレゼン用の一端を担うよう、発表実習も行う。テーマ設定、コンセプト、ビジュアルイメージマップ、デザイン画、アイテムバリエーション、研究課題等。  
(デザイン構成と表現内容の工夫などを強化)

[ジュエリーデザイン作成]

- 立体の把握(基本バランスの再認識をかねて) …3コマ  
・・・石材の彩色表現、立体デザインにメレダイアの構成表現、ペンダント、イヤリング、ブローチ等のデザイン表現についてのポイント

[創作デザイン]・・・テーマにあった発想のキーワードの資料収集と探求、オリジナルデザイン表現

- モチーフジュエリーデザイン …3コマ  
・・・好きなモチーフを選択し、商品化をイメージさせる構成にてデザイン展開
- ジュエリー模写からのデザイン研究及びアレンジデザイン …5コマ  
・・・ジュエリーの写真からデザインや技法を模写し、アレンジデザイン作成
- ジュエリーデザインアイテム30 …7コマ  
・・・テーマを選択しアイテム配分は自由に30点のデザインを、コンセプト・リサーチ資料などを企画書的構成にてまとめ、発表
- コンテスト応募作品 …2コマ前後 課題時間の併用も考慮

## 評価方法・対象・比重

課題作品による評価、前期と後期期末試験、出席状況、授業態度を考慮に入れる。

## 主要教材図書

参考図書 宝飾の歴史書物

その他資料 ファッション誌及び宝飾誌関連等

記載者書名欄 河西 恵美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科	3 年	単 位	2 単位
科目コード	50520	科目名	造形デザイン II		授業期間	( 通年 )

担当教員(代表)：	津村耕介	共同担当者：	
-----------	------	--------	--

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1つのパーツから繋がり様々な形に変化する事は生命が細胞の集まりだという事と同じである。  
 自分の好きな形を1つ決める。幾何学的でクールな形でも有機的な形でもOK！サイズや厚み素材、色は自由。  
 その形だけを使ってバッグ、靴、帽子、アクセサリを作る。余裕があれば服まで制作も構わない。  
 それらの作品を記録し自分のブランドとして冊子を作り、展示方法を考えていく。

・オリエンテーション、授業概要説明	2 コマ
・デザイン、制作	1 2 コマ
・作品プレゼン	2 コマ
・ポスター制作	6 コマ
・展示準備、シミュレーション	4 コマ
・展示、講評会	2 コマ

評価方法・対象・比重

課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 津村耕介

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科3年	単 位	1単位
科目コード 92800	科目名 生活文化史	授業期間	9月8日(火)～ 14コマ ( )

担当教員(代表)：和久謙治	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

人間の「文化」についての、一般的な解釈、理解から始め、生活の中の焼物、織物、建築、ジュエリーなどの装飾デザイン文化を学ぶ。この分野では、言葉による理解には自ずと限界があるため、デザイン実習によって、デザインと文化の関係を、より理解できるように実践する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	文化とは；文化の意味と共通イメージ	16	
2	人類の誕生と古代表象	17	
3	古代表象からもんようへ（大地と生殖の表象1）	18	
4	古代表象からもんようへ（大地と生殖の表象2）	19	
5	実習；大地と生殖のオリジナル表象を描く	20	
6	文様から連続文様へ（織物、建築、連続文様の発展）	21	
7	実習；オリジナル連続文様を描く（1）	22	
8	オリジナル連続文様を描く（2）	23	
9	具象的文様への変容（中世）	24	
10	実習；古代表象と同じ意味の具象的文様を探す	25	
11	19世紀後半の工芸運動	26	
12	アールヌボワ、アールデコ	27	



13	バウハウス（装飾からデザインへ）	28	
14	IT革命	29	
15		30	

評価方法・対象・比重
------------

主要教材図書
参考図書
その他資料 和久譲治が編集した写真やHP 画像

記載者氏名 和久譲治
------------

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	1単位
科目コード 43951	科目名 ジュエリーCAD I	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ジュエリー・アクセサリーのデザインにおいて必須となった3D-CADでのデザインを3DCADソフト『ライノセラス』を使用し、その基本技術を習得する。

1. ライノジュエリーバージョンについて	0.5コマ
2. CADの基本操作 曲線、直線、円、四角の書き方、 円弧の書き方、パイプ、石枠	1.5コマ
3. 画像の取り込み、サイズ調整、トレース、ラインの修正 リングの書き方	1コマ
4. 基本リング、石座つきリング、名前入りリング	2コマ
5. ライノ→イラストレーターへの変換配置	1コマ
6. 複雑なリングの製作 基本コマンドからの展開 紋章リング ラインの処理、立体化 イラストレーターへの変換配置	2コマ
7. オリジナルアクセサリーの作成 基本～応用 座金の制作	3コマ
8. 商品的ジュエリーデザインの作成 演習 データベースをもとにした、商品デザインの展開 ターゲット別商品のデザイン展開	3コマ
ファイルの作成、まとめ	

評価方法・対象・比重

制作物(データ 及びデータのレイアウトしたファイル) 提出物と、その制作過程における課題の理解度、また出席状況などを総合的に評価する。

比重 制作物 4 : 理解度 4 : 出席状況 2

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 大工原 睦

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

14423	帽子.ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザインコース	3年	単 位	2
71530	ファブリック.スカルプチャー			授業期間	後期

担当教員(代表): 伊藤淑恵

共同担当者:

## 教育目標・レベル設定など

※最終的にはファブリック.スカルプチャーのテクニックを習得し帽子.ジュエリー.デザインの制作手法に繋げる事を目的とする。  
 ※授業を通じ、表現手法と素材感や、空間演出、ライティングの基本的な感覚を身につける。  
 ※ポートフォリオ制作提出: 今後の制作活動に欠かせないポートフォリオ制作の基本を解説し、授業で制作した作品や最終作品の企画書等を編集し、提出する。さらに一点透視のスケッチの原理の解説を行う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- [講義] ファブリック.スカルプチャーについてパワーポイントで具体例と共に解説。  
 制作へのインスピレーションについて。広い意味での布による立体造形のアート作品の紹介。  
 布地の素材感について。  
 ポートフォリオ制作の基本について。まとめ/応用演習\*パネル、ボディ、マネキンで演習
- [演習] ピンワークの基本テクニック 1. ①アンヴィエ ②ダブルヴィエ
- [解説] 制作活動に欠かせない資料のファイリングについて。
- [演習] ピンワークの基本テクニック 2. ③ギャザリングA/B
- [演習] ピンワークの基本テクニック 3. ④ドレープA/B
- [演習] ピンワークの基本テクニック 4. ⑤ タッキング
- [演習] ピンワークの基本テクニック 5. ⑥プリーツ: 横地、縦地
- [演習] ピンワークの基本テクニック 6. まとめ/応用演習\*パネル、ボディ、マネキンで演習/マネキンの扱い方。  
 ピンワークテクニックのまとめ/グループ制作 1.
- [演習] モーフィング.テクニック
- [演習] フォーミング.テクニック 1. ラインの表現手法
- [演習] フォーミング.テクニック 2. 平面の表現手法
- [演習] フォーミング.テクニック 3. 立体の表現手法
- [演習] フォーミング.テクニック /まとめ応用演習
- [演習] ファブリック.スカルプチャー/グループ制作の企画打ち合わせ、準備。
- [演習] ファブリック.スカルプチャー/グループ制作の準備。 \*準備作業の間、ファッション関係のDVDを鑑賞
- [演習] ファブリック.スカルプチャー/グループ制作。グループ制作仕上げ、手直し、発表、撮影、
- [演習] PPTで各テクニックのまとめ作品。最終作品の講評会。

\*授業後にポートフォリオを提出。講評。採点。

## 評価方法・対象・比重

演習での制作作品 (個人又はチーム) ・ ポートフォリオ (個人) ・ 出欠状況・授業態度 これらを総合的に評価する。

主要教材図書 特になし / \*プリントによるテキスト配布。

参考図書 担当者個人のイメージファイル

その他資料 担当者オリジナルのピンワークテクニックのプリント。 パワーポイント、DVDによる資料

記載者書名欄 伊藤淑恵

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科 名	帽子・ジュエリーデザイン科／バッグデザイン科	単 位	2
科目コード	90000		ザイン科／シューズデザイン科 3年	授業期間	通年
		科目名	英会話 I		

担当教員(代表) : James Knight	共同担当者 :
-------------------------	---------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

英語をツールにしてコミュニケーションをとれるように、イントネーションの大切さに留意させるとともに、英語の総合的な運用力をつけることを目標とする。文法中心ではなく、プレゼンテーションを含む体験的なクラス運営を試みている。

1	時制の復習
2	グループ発表
3	数えられる名詞／数えられない名詞
4	デザイナーとして活躍している卒業生
5	興味のある有名人について発表する(1)
6	比較級、所有代名詞の復習
7	興味のある有名人について発表する(2)
8	最上級、命令形の確認
9	興味のある有名人について発表する(3)
10	副詞／比較級／If 節
11	興味のある有名人について発表する(4)
12	過去進行形／While 節
13	グループ発表を発展させる(1)

14	助動詞の使い方
15	グループ発表を発展させる(2)
16	間接目的語の置き方、好き嫌いを表す動詞の確認
17	グループ発表を発展させる(3)
18	助動詞の使い方
19	グループ発表を発展させる(4)
20	未来進行形
21	個人発表の展開(1)
22	冠詞の使い方
23	個人発表の展開(1)
24	過去形のまとめ
25	個人発表の展開(2)
26	個人発表の展開(3)
27	総まとめ

評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等 : “Side by Side Book 2” Pearson Longman

記載者署名欄 薩田 須美子

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	1単位
科目コード 96652	科目名 インターンシップb（自由選択）	授業期間	（通年）

担当教員（代表）：大工原 睦	共同担当者： 山内 祐子
----------------	--------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事を確認するとともに、学校教育では体験できない実務を学ぶ。また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上とともに、就職に結びつける機会にする。

## ・研修先、期間

帽子やジュエリーの企業

1週間～2週間（受け入れ先企業により異なる）

## ・研修内容

工場見学

工場実務作業

実務作業補助（デザイン、製作、営業、生産管理など）

商品の検品

など、研修内容はそれぞれの企業や現状により組まれる。

## 評価方法・対象・比重

（学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合を考慮し、自由選択とする。）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 大工原 睦

# 2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14403	科 名 帽子・ジュエリーデザイン科 3年	単 位	4単位
科目コード 97900	科目名 卒業研究・創作	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：大工原 睦	共同担当者： 山内 祐子、西山 志郎
----------------	--------------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

3年間の集大成として、各自が研究テーマを設定し企画デザイン創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学ぶことを目標とする。

選択科目の帽子とジュエリーを中心にトータルコーディネートしたグッズの総合企画制作を行う。

作品は4点以上。又は、それに見合う作品を制作。

バッグデザイン科、シューズデザイン科と共に展示発表の企画、運営を行う。

卒業制作（自由作品）

・講義、実習、リサーチ

・作品制作

帽子・ジュエリーを中心にトータルコーディネートしたグッズの総合企画制作

作品4点以上 又は、それに見合う作品

展示台製作

\* 選択科目（帽子・ジュエリー）と連動

展示発表の企画、運営

・グループ活動

（3科合同展示）

平常授業 2コマ×15回〈30コマ〉

平常授業後〈2月〉16日

評価方法・対象・比重

テーマ別作品評価：出欠：授業姿勢

6 : 3 : 1

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 大工原 睦